

平成30年度 第3回岐阜市障害者総合支援協議会 議事要旨

平成31年2月25日(月)

15:30~17:00

岐阜市役所 大会議室

1. 岐阜市障害者総合支援協議会 専門部会(下半期)活動報告について

事務局より別紙資料2「平成30年度 岐阜市障害者総合支援協議会 専門部会(下半期)実施報告」に沿って下半期の活動を報告。

- (1) 第8回 相談支援との連携について(居宅サービス関係)(H30.11.30開催)
- (2) 第9回 地域生活支援拠点等整備②について(H30.12.18開催)
- (3) 第10回 障害者虐待防止について(H30.12.26開催)
- (4) 第11回 精神障がい者の退院後支援体制について(H31.1.11開催)
- (5) 第12回 研修「視覚障がい者の支援について」(H31.1.23開催)
- (6) 第13回 医療的ケア児の支援について(H31.2.7開催)
- (7) 第14回 障害児支援の連携について(H31.2.13開催)

[下半期の活動報告についての意見等]

- (1) 第8回 相談支援との連携について(居宅サービス関係)(H30.11.30開催)
  - ・関係者間で対象者の状況等を積極的に確認し合えるとよいことを共通認識とすることができ、顔が見える関係づくりにつながった。
- (2) 第9回 地域生活支援拠点等整備②について(H30.12.18開催)
  - ・各事業所とも地域生活支援拠点等整備の必要性の認識を持っている。今後の地域生活支援拠点等整備に向けた検討ワーキングで課題に取り組んでいくことが必要。
  - ・事前アンケートの集計結果から、各事業所が持つ地域生活支援拠点等整備に関する考え方を知ることができた。数字として考え方をとらえることができた点に意味がある。今後、整備を進めていく上で、事業所を絞って地域生活支援拠点等整備に向けた検討ワーキング等の協議を進めていくべきかどうかを課題となる。事業所を絞って整備を進める場合には、協議に参加しない事業所にも情報が共有されるようにすべきである。
  - ・地域生活支援拠点等整備を進めていくためには、中心的な役割をどこかが担う必要がある。行政側から中心的な役割を担うところへ働きかけをしてもらいたい。
- (3) 第10回 障害者虐待防止について(H30.12.26開催)
  - ・新しくできた施設等では、障害者虐待の対応に苦慮していると聞く。専門部会において、先進的な施設における取り組みを知ることができたのがよかった。
  - ・平成31年1月には虐待防止に関連して養護者向けのセミナーが市主催で開催された。こうした取り組みを今後も続けてもらいたい。
  - ・障害者虐待の件数は増加傾向にある。その背景には、関係者の中で意識が高まってきたことが関係しているように思う。
  - ・虐待を医療関係者が発見することもある。虐待の通報をするだけで終わりにならないようにする必要があるため、対応のマニュアル等を共有できるようにしたい。

(4) 第11回 精神障がい者の退院後支援体制について (H31.1.11 開催)

- ・退院後の支援については、本人の意思を尊重するという点を重視して取り組んでもらいたい。
- ・精神障がい者には定期的な通院が必要である。しかし、精神疾患は状態に波があり、受診が途切れてしまうことも多い。受診が途切れやすい人でも安定的な医療を確保できるよう医師を含めた多職種によるアウトリーチ支援を実現してほしい。

(5) 第12回 研修「視覚障がい者の支援について」(H31.1.23 開催)

- ・地域包括支援センターの職員が研修に参加し、今後は地域包括支援センターが主催となり、視覚障がいの者の支援についての研修会開催が検討されている。

(6) 第13回 医療的ケア児の支援について (H31.2.7 開催)

- ・支援者が医療的ケア児の支援について知識を得て、安心を得ることも大切。
- ・訪問看護や学校現場等での支援の実例を聞くことができ、支援を体験することができた。
- ・関わっていない支援者も今後関わるかもしれないと気づき、何かできるといいなと思えた大変良い機会であった。

(7) 第14回 障害児支援の連携について (H31.2.13 開催)

- ・岐阜市内の小・中学校で支援に携わっている特別支援教育コーディネーターが学ぶよい機会となった。

## 2. 来年度のテーマについて

- ・上半期の専門部会では、昨年度に引き続き、「相談支援との連携について（介護保険関係）」が開催され、相談支援専門員と地域包括支援センターとのつながりができている。現状での課題は少ないようであるが、地域包括支援センターでは障がいをテーマに介護支援専門員の研修を行っている。今後も継続して開催できるとよい。
- ・上半期の専門部会として開催された「就労支援事業所説明会」においては、参加対象がこれまでの高等部1年生から1、2、3年生まで拡大された。生徒の進路支援の視点から考え、中等部の参加や特別支援学級などニーズのある生徒が参加できる会になるとよい。
- ・権利擁護センターにおいて、障がい者虐待防止のための管理者向け研修を開催しているが、現場の職員向け研修の必要性を感じている。専門部会において、どんな研修を事業者が現場の職員向けに行うとよいのか検討する会ができるとよい。もしくは事業所間でどのような研修をしているのか等の情報やノウハウを共有できる機会があるとよい。

### (会議の様子)

